

は　じ　め　に

本校は、明治六年に創立された前身の「菊田学校」にその淵源を辿り、百五十年余りの歴史を紡いで今日に至る伝統校であります。

この間、昭和二十九年から九年間、当時の校長として力を尽くされた高橋誉富先生が体育指導を学校経営の柱に据え、昭和三十二年度の県指定体育公開研究会を皮切りに、昭和三十四年度から全国公開研究会を開催し、以後今日まで六十年以上体育指導研究を積み重ねてまいりました。時代の移り変わりとともに幾多の教師と児童がこの津田沼小学校に集い、学び、そして巣立っていきましたが、体育を通しての人間形成、すなわち「人づくりは心づくり、心づくりはからだづくり」との先人の言葉はいささかも揺るぐことなく、「津小」の教育を脈々と支え続けています。

近年は新型コロナウイルス感染症による行動制限も解かれ、豊かな体験活動や学校行事も元に戻ってまいりました。子供たちはマスクを自由に着脱し、従来の活気あふれる姿を取り戻すかのように、朝から校庭を元気に走り、遊具に挑戦するなど様々な「からだづくり」に励んでいます。体づくりをしながら技に挑戦する中で子供は、自分ができること、できないことを認め、できないことに悔しさを覚えつつも、どうすればできるようになるかと試行錯誤します。技のポイントを理解したり、周辺運動を行ったり、指導者や友達の助言に助けられたりしながら、集団的な学びを通して思考し表現しようとする、その姿こそが、本校が掲げる「体育を中核とする人間形成」の根本であり、「心づくり」「人づくり」につながるものです。本日は本校の全教職員が、様々な支援の方法で子供の思考を促しますので、その姿をご覧いただければ幸いと存じます。研究は未だ道半ばであり、皆様の忌憚のないご意見ご助言を頂戴しながら、今後ますますの研鑽に努めてまいります。

最後になりましたが、本校の研究全体にわたりご指導いただきました日本体育大学教授近藤智靖先生、また各部会講師の先生方や習志野市教育委員会の先生方はじめ、ご指導くださったすべての皆様に対し、心より感謝と御礼を申し上げます。

校長　宮崎　晶子